

■ グリーンスローモビリティ実装イメージ

- 使用車両:7人乗りゴルフカート 2台(ヤマハ発動機)
- システム:AI運行バス(NTTドコモ)
- 環境配慮:CO2削減(関西電力(環境総合テクノス))



【コンセプト】
 高齢化が進むまちで、脱炭素化の住民意識を高めながら、全国のオールドタウンに共通する地域課題の解決に向け、GSM とまちづくりを一体的に推進することにより、地域循環共生圏形成の全国モデルを構築する。

運行体制

運行主体 : 河内長野市
 運行主体補助: 大阪府

地域運営体制
 : 社会福祉協議会+地域団体

広報部
 グリーンスローモビリティ運行の意義について地域住民の理解を得る
 グリーンスローモビリティ運行方法を周知
 地域内移動はグリーンスローモビリティ利用を誘導
 環境に配慮するまちとしてブランド化を図る

車両運行部
 車両の運転
 車両の管理
 運行課題の抽出

運行管理部
 運行オペレーション
 運行課題の抽出
 運行監視システム管理
 予約システム管理
 決済システム管理
 会計管理

運行企画部
 総合調整
 地域内事業者連携調整
 運行手法の検討・調整
 課題の抽出・検討
 調査・検証(アンケート等)

- u 大学・民間企業による技術的支援
- ・関西大学(ニーズ調査・分析、周知等)
 - ・NTTドコモ(システム提供)
 - ・ヤマハ発動機(車両提供)
 - ・関西電力(環境測定・等)
 - ・コノミヤ(車庫・充電設備提供)



オンデマンド乗合制御サービス (高度化型MaaS)

路線やダイヤなどに縛られず、利用者が希望したときに乗りたい乗車ポイントから降りたい降車ポイントまで輸送してくれるオンデマンドの乗合交通サービス

送客サポートサービス (サービス連携型MaaS)

乗客を運行エリア内の商業施設や観光施設等へ輸送し、各施設の利用を促す送客サポートサービス

ルートを固定せず需要に応じて車両を運行させる新たな交通の仕組みです。

